

授業科目 物性工学

【担当教員名】 野城 真理		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					
【概要・一般目標：G10】 生体の電気的受動・能動特性、力学的特性、流体力学的特性、音波・超音波に対する性質、物質輸送など、基本的な生体の物性に関して教授する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 生体の基本的な物理的特性について説明できる。 2. 生体内の物質輸送について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	生体物性の概要と電気的特性			1	講義
2	生体の電気的特性			1	講義
3	生体の機械的特性			1	講義
4	生体の熱的特性			1	講義
5	生体と放射線			1	講義
6	生体の光特性			1	講義
7	生体における輸送現象			2	講義
8	まとめ			1-2	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床工学講座 生体物性・医用材料工学	中島章夫、氏平政伸 他	医歯薬出版	2010・3,400円＋税
参考書					
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 定期試験(100%)を原則とするが、学習状況に応じて小試験あるいは中間試験を行うこともある。			【履修上の留意点】 本科目は生体計測装置学や医用治療機器学などの基礎となるので、予習と復習を行って、しっかり内容を理解して記憶すること。		